

日根野中だより

令和5年12月1日発行 日根野中学校 校長 武田 博之

今年最後の月…12月:考えるべきこと…!

今年最後の月…「12月」…特に考えるべきこと…。

12月4日～12月10日までが人権週間…。12月10日が人権の日…。人が人としてイキイキと生きていける「社会」を作っていくためには、様々な角度から物事を考える力が必要になってきます。自分ではない…他人の立場で物事を考え、感じ、判断する力…と云えばいいのでしょうか…。

現在この日本では、人権無視ともとれる「いじめ」が多く起きています。テレビに出てくる芸能人への、インターネット上での誹謗中傷や、名前も名乗らず、卑怯な手で言いたい放題の悪口をのせる…そんな悲しい現状もあります。

事実を確認することもなく、ただただ非難し続ける…これはひどい人権問題です…。人の悪口や陰口を言って笑っている…これも立派な人権問題です…。こうした他人の不幸をよるこぶ情けない心…。自分が優位にいる…優位にいたいという、悪魔のような心が人間誰にでもあるのか?…。だからこそ、常に注意していないと、誰もが「いじめ」のような人権問題を起こしてしまう恐れがある…。それを理解してほしいと強く思います…。自分が相手の立場だったら…してほしい行動を起こし…してほしくない行動は止める…。「誰か」のことじゃない!相手の立場に立って考える力を学び、身につける…!

そんな12月にしていきたいと思います!

<心の風景…> その一言で…

その一言で励まされ その一言で希望を持ち その一言で腹が立ち
その一言で落胆し…そして、その一言で泣かされる
そんな言葉の重み感じます ほんのわずかな一言が、大きな力を持っている
ほんの少しの一言に、こだわりたいですね…



鳥の目で見、今何ができる?何をすべきなのか?を考える…

日根野中学校は自然に恵まれた環境の中に存在しています…。校内を回って回るだけでも、いろんな生物が自然の中で必死になって生きている…。それから生物の中の動物たちにとっては生きるために食べる物を探す…これが生活そのものになっている…。しかも命がけで…。そんな場面をよく目にします。例えば、スズメやハトがエサをついばんでいる…。その近くでカラスの鳴き声…カラスの姿が見えた途端、群れになって自分たちの身を守るために飛び立っていく…。またカラスの姿がなくなると、舞い戻りエサを食べ始める…。そんな繰り返し…。すべてが命がけ…。海岸付近に育つ松の木は、この辺りでは防風林の役割を果たし、近隣では校庭内にも多くの松の木が育っている学校もあります…。その松は決して、天に向かって真っすぐには育っていない…。海から強く吹いてくる風に逆らわず、その風が強く吹いても影響が最小限になるように斜めに育っている…。その代わり見えないところで、地中に真っすぐの大きく太い根を掘り下げている…。地球上に住む生物は、ほとんどすべてその自然との闘いの中で、時には抗(あ)ら(が)い、時にはなびきながらも生き延びているのが見えてきます。

そんな中で、自分たち人間は…?と考えたとき、何か感じませんか?常に守られて当然…十分満たされて当然と考えてしまう自分はいませんか?自分自身も甘さを指摘されているような気持ちになりますが、みんなはどうでしょうか?

今大変な状況が世界中で続き、これからも制約のある生活がまだまだ続くことになるでしょう…。そんな時だからこそ、何ができるのか、何をすべきなのか?を考える…これが大事になってくると思います。辛く苦しく感じる場面が多いとは思いますが、今だからこそできるものに全力を注ぐ…。自然界で命がけ…自然をそのままに受け入れ生きている他の生物たちの姿などに思いを馳せてみる…。この年の瀬、自分の時間もいつもより多くあるはずですが…。しっかりと考えてみるのも大切なのではないですか?がんばっていきましょう!

目指す山頂に
絶対立てやる!!
その強い思いがあれば
これからの日々
どんな困難にも
耐え抜くことができる
あきらめないこと
歩みを絶対
止めないこと

目指す山頂に絶対立ってやる!・・・
その強い思いがあれば、
これからの日々 どんな困難にも耐え抜く
ことが出来る・・・
あきらめないこと・・・
歩みを絶対止めないこと・・・
がんばれ 3年生! がんばれ 日根野中生!

人生の岐路に立つ
こんな時だからこそ
自分のみに向け
自分しか見えていない眼を
他人に向け
他人を見ようとする眼に
今まで見えなかったものが見え 正長の時
気づかなったことに気づく